

「令和6年度における統計リソースの重点的な配分に関する建議」に向けた検討メモ

令和5年4月28日

統計委員会委員長 椿広計

- 各府省内の予算要求の取りまとめ手続き等を踏まえ、従前より1か月前倒しでリソース建議を取りまとめることとしてはどうか。このため、以下のスケジュールで検討することとしてはどうか。

4月28日 建議に盛り込むべき事項を統計委員会で議論
5月上旬 建議素案を委員に提示、委員意見の受付（メール対応）
下旬 意見を踏まえた建議案を統計委員会で議論
→5月中に取りまとめ

- 建議には、第IV期基本計画の具体化のためにリソースが必要となる事項のほか、各方面から新たに／深掘りを求められている事項でリソースが必要なものについても盛り込むこととしてはどうか。

・ 第IV期基本計画の具体化のためにリソースが必要となる事項の例

- －社会経済の変化に的確に対応する公的統計の整備（QEの精度向上、SUT体系への移行、2025SNAへの関与と策定後の導入対応等）
- －統計の国際比較可能性の向上（統計を巡る国際動向の把握等）
- －統計データの利活用促進（e-Statの機能充実、リモートアクセス方式の試行を踏まえた対応等）
- －品質の高い統計の作成のための基盤整備（統計の信頼回復への早急な取組、統計作成プロセス標準化や信頼性の確保に資するシステム整備、国・地方の統計職員の確保・育成、技術を有する信頼性のある外部委託先の確保等）
- －デジタル技術や多様な情報源の活用等による正確かつ効率的な統計作成（オンラインシステムの利便性向上、衛星データや行政記録情報の活用や研究等）

・ 各方面から新たに／深掘りを求められている事項でリソースが必要なものの例

- －Well-being指標と統計調査に関する調査研究・国際的動向把握
- －調査票情報の利活用の利便性向上（調査票情報の二次利用提供の早期化のためのシステム・体制の整備等）